

ボール運動

ボール運動について



●●●このような領域です●●●

- ルールや作戦を工夫して、チーム対チームの攻防によって競争することで楽しさや喜びを味わうことができる運動です。
- 攻防の特徴から、「ゴール型」「ネット型」「ベースボール型」の3つの型に分けられています。
- ルールや学習の場を工夫したり、チームの特徴に応じた作戦を立てて、互いに協力し、役割を分担して練習を行い、型に応じた技能を身に付けてゲームをしたりすることが学習の中心です。特に、攻撃しやすい状況をつくり、チームの特徴に応じた作戦を生かすことができるようにします。
- チーム内で友達と助け合ったり、分担された役割をしっかりと果たしたりすることは、この領域でしっかりと指導したい内容です。

→ 解説 P.17・18

●●●このような内容の構成です●●●

低学年	中学年	高学年
ゲーム	ゲーム	ボール運動
ボールゲーム	ゴール型ゲーム	ゴール型
	ネット型ゲーム	ネット型
鬼遊び	ベースボール型ゲーム	ベースボール型

高学年では、一般化されたスポーツを基にしたルールや形式のゲームを、児童が立てた作戦が成功しやすく得点しやすくなるよう、**簡易化されたゲーム**を設定します。

●●●このような内容を指導します●●● → 解説 P.72～75 第8集 P.4～12

(1) 技能

次の運動の楽しさや喜びに触れ、その技能を身に付けることができるようにする。

- ア ゴール型では簡易化されたゲームで、ボール操作やボールを受けるための動きによって、攻防をすること。
- イ ネット型では簡易化されたゲームで、チームの連携による攻撃や守備によって、攻防をすること。
- ウ ベースボール型ゲームでは簡易化されたゲームで、ボールを打ち返す攻撃や隊形を取った守備によって、攻防をすること。

技能は「ボール操作」及び「ボールを持たないときの動き」で構成しています。



簡易化されたゲームとは…

- ・プレーヤーの数
 - ・コート広さ
 - ・プレー上の制限(緩和)
 - ・運動用具や設備
- などを児童の実態に応じて簡単な様式に工夫したものです。

(2) 態度

- それぞれの型のゲームに進んで取り組むこと。
- ルールやマナーを守り、助け合って練習やゲームをすること。
- 場や用具の安全に気を配ること。

(3) 思考・判断

- ルールを工夫したり、自分のチームの特徴に応じた作戦を立てたりすること。



チームで作戦を立てたりゲームや練習に取り組んだりすることを通して、積極的に発言したり、アイデアを出している姿やルール及びマナーを守るなどの公正な態度で友達と助け合っている姿を積極的に賞賛することが大切です。

「楽しくゲームができるルールの例」や「チームの特徴とそれに合った作戦例」、「作戦を成功させるための課題や解決の方法例」などを教師が例示し、児童が試しながら協力して課題の解決を図ることができるよう計画します。



授業づくりの視点

●●● 授業づくりの考え方 ●●● → 解説 P.18・72・73

「ルールや形式が一般化されたゲーム(スポーツ)」を基にしながら、すべての児童がゲームの楽しさや喜びに触れ、その学習内容を習得することができるように、簡易化されたゲームとして教材化を図ることが大切です。そのために、ルールや運動の場を教師が工夫することが求められます。「チームで立てた作戦を成功させるためにはどうしたらよいのか。」ということから、「ボール操作とボールを持たないときの動きのポイント」や「作戦例の動きのポイント」がわかる場面、「作戦を成功させるための課題を解決する方法」がわかる場面などを意図的に計画することも大切です。

●●● こんなところがポイントです ●●● → 第8集 P.57・58・69・70・75・76

楽しさや喜びに触れることができるようにルールや運動の場を工夫する

児童がゲームの楽しさや喜びに触れることができるようにするためには、どの児童もボールに触れる機会が多く、児童が立てた作戦が成功しやすい状況を作ることが必要です。そのためにルールや運動の場を工夫していくことが大切です。



トスは1回キャッチしてOK

★工夫の視点は…

- ・コート奥行きと横幅
- ・プレーヤーの人数を少なく
- ・守り側より攻め側の人数が上回る状況の設定
- ・ルールの緩和
- ・用具の工夫 など



ソフトバレーボール: セッターのボールキャッチルールの設定

作戦の立て方や動きのポイントを押さえるためによい動きを共有する

ボール運動は、チーム対チームで作戦に基づいてプレーを競い合うため、その作戦の立て方やボール操作とボールを持たないときの動きのポイントについて、知る必要があります。資料を活用したり、よい動きの場面を取り上げたりしながらチームや学級全体で共有できるようにします。

フリーになってパスをもらうための動きを紹介

○ボールをもらうとき、どこに立てばいいかな? 守りの人の位置をよく見て、守りがいないところへ移動することが大切だね。ゲームの中でAさんが素早く動いて、声を出してパスを受けていたよ。先生がやってみせるから、動いた方向をよく見ててね。



課題の解決の仕方がイメージできるように言葉かけを工夫する

ゲームを楽しむための解決すべき課題やその解決の仕方について、児童が気付けるように具体的な活動場面を紹介したり、意図的に発問をしたりします。

居残り作戦(速攻での得点)が成功しない

○守りの人がゴールの前にもどる前に、味方がシュートをできるようにするためにはどんな動きが必要かな?

- ★自分たちのチームのボールになったときに…
- ・サイドから素早くパスを入れる
- ・ゴール前に走って移動する人を決めておく
- ・パスをつなぐのか長いパスを使うのか



●●● 2年間の計画を考えます(ネット型の例) ●●●

< A校の場合 > それぞれの型のゲームを2学年とも設定した計画例

□ は 5年生 □ は 6年生

5年		6年	
8時間	6時間	8時間	8時間
【ゴール型】	【ネット型】	【ゴール型】	【ベースボール型】

ソフトバレーボールを基にした簡易化されたゲームの例				
1	2~5	6~8	9	10~14
・ゲームの行い方を知る ・準備や片付け、運動の場の安全について確認する	< 易しいルールのソフトバレーボールをする > ・兄弟チームを作り、操作しやすいボールを使ったり、ボールに触れる回数の制限を緩和したりして、互いにラリーが続くように易しいルールのゲームをする。	< 簡易化されたソフトバレーボールをする > ・連携プレーがしやすいように、1度の返球までにボールに触れてよい回数などを工夫したゲームをする。 ・プレー上の制限や得点の仕方などのルールを工夫する。	・ゲームの行い方を知る ・準備や片付け、運動の場の安全について確認する	< 簡易化されたソフトバレーボールをする > ・3回で相手コートに返球する連携やそれに対応する守備ができるように簡易化されたゲームをする。 ・自分のチームの特徴に合った作戦を立て、それに基づいた攻撃や守備をしてゲームをする。

< B校の場合 > それぞれの型のゲームを2学年のどちらかで設定し、1単元の時間を多くした計画例

5年		6年	
10時間	12時間	12時間	10時間
【ゴール型】	【ベースボール型】	【ネット型】	【ゴール型】

ソフトバレーボールを基にした簡易化されたゲームの例		
1~4	3~7	8~12
・易しいルールのソフトバレーボールのゲームをしなから、ネット型ゲームの行い方を知る ・準備や片付け、運動の場の安全について確認する	< 簡易化されたソフトバレーボールをする > ・連携プレーがしやすいように、1度の返球までにボールに触れてよい回数などを工夫したゲームをする。 ・プレー上の制限や得点の仕方などのルールを工夫する。	< 簡易化されたソフトバレーボールをする > ・3回で相手コートに返球する連携やそれに対応する守備ができるように簡易化されたゲームをする。 ・自分のチームの特徴に合った作戦を立て、それに基づいた攻撃や守備をしてゲームをする。

※ゲームでは、指導の順序性(単元の取り扱いの順番)はないため、時間数は授業時数例を示しています。